

# 第 100 回 記念 委員会 記

第100回記念委員会が、下記の通り開催されました。

昭和60年10月11日(金), 平安会館

時 間	内 容	主 催 者
	＜講演会プログラム＞	
9:30～12:30	『これからの溶融塩 —その化学と技術の将来展望—』 “省電力型アルミニウム新製錬法の開発をめざして”	(北大工) 石川達雄 委員
	“鉄鋼製錬用スラグと溶融塩化学”	(阪大工) 原茂太 委員
	“高温化学への期待 —プラズマ化学を中心に—”	(東大工) 明石和夫 委員
12:30～13:30	休 憩 (役員会)	
13:30～14:50	公開討論会『委員会のさらなる発展に向けて』 〔コメンター〕 (住友アルミ) 飯田一生 委員, (阪大工) 大塚伸也 委員, (名大工) 沖 猛雄 委員, (昭和電工) 黒山成文 委員, (山梨大工) 児島弘直 委員, (同志社大工) 田坂明政 委員, (東海大開技研) 古川和男 委員, (三徳金属) 山本和弘 委員 〔司会〕(京大工) 伊藤靖彦 委員	
15:00～16:00	『溶融塩と私 —100回の委員会までの思い出と 炭素電極反応研究の歩み—』	(京大工) 渡辺信淳 委員長
16:10～17:10	特別講演『プレート・テクトニクスと地震』	(京大理) 一戸時雄 氏
	＜懇 親 会＞	
17:30～19:30	同 所	

## 第100回 溶融塩委員会出席者名簿

(順不同)

氏名	所 属	氏名	所 属
渡 辺 信 淳	京 大 ・ 工	川 上 正 博	豊 橋 技 大 ・ 工
一 戸 時 雄	京 大 ・ 理	藤 本 和 之	橋 本 化 成 工 業 (株)
石 川 達 雄	北 大 ・ 工	八 辺 吉 文	小 松 電 子 金 属 (株)
原 茂 太	阪 大 ・ 工	田 島 欣 太 郎	新 日 本 製 鉄 (株)
明 石 和 夫	東 大 ・ 工	表 雄 一	関 東 電 化 工 業 (株)
飯 田 一 生	住友アルミニウム製錬(株)	持 永 純 一	千 葉 大 ・ 工
大 塚 伸 也	阪 大 ・ 工	寺 田 俊 司	坂 井 化 学 工 業 (株)
沖 猛 雄	名 大 ・ 工	太 田 健 一 郎	横 浜 国 大 ・ 工
黒 山 成 文	昭 和 電 工 (株)	尾 上 俊 雄	(株) 神 戸 製 鋼 所
児 島 弘 直	山 梨 大 ・ 工	長 冲 通	日 本 カ ー ボ ン (株)
田 坂 明 政	同 大 ・ 工	阪 良 二	住 友 アル ミ ニ ウ ム (株)
古 川 和 男	東 海 大 ・ 開 技 研	寺 田 誠 二	川 崎 製 鉄 (株)
山 本 和 弘	三 徳 金 属 工 業 (株)	幸 塚 善 作	阪 大 ・ 工
伊 藤 靖 彦	京 大 ・ 工	大 尻 滋	日 本 サ ー モ ケ ミ カ ル (株)
石 野 俊 夫	阪 大 ・ 工	宮 崎 義 憲	大 工 試
荻 野 和 巳	阪 大 ・ 工	矢 島 孝 二	日 本 曹 達 (株)
倉 知 三 夫	京 大 ・ 工	渡 辺 吉 章	住 友 軽 金 属 工 業 (株)
塩 川 二 朗	阪 大 ・ 工	早 川 保 昌	昭 和 女 子 大 ・ 家 政
吉 澤 四 郎	京 大 ・ 工	井 関 順 吉	大 阪 チ タ ニ ウ ム 製 造 (株)
小 松 伸 也	関 西 大 ・ 工	加 藤 滋 雄	京 大 ・ 工
南 条 道 夫	東 北 大 ・ 選 研	渡 辺 政 広	山 梨 大 ・ 工
金 谷 泰 宏	大 阪 曹 達 (株)	南 浦 基 二	住 友 アル ミ ニ ウ ム 製 錬 (株)
山 下 正 通	同 大 ・ 工	宇 野 清 文	京 大 ・ 工
矢 村 昭	三 菱 化 成 (株)	小 坂 岑 雄	名 工 試
菊 地 光 雄	東 洋 曹 達 工 業 (株)	金 治 幸 雄	神 大 ・ 工
杉 野 喜 一 郎	東 工 大	出 来 成 人	神 大 ・ 工
中 島 剛	京 大 ・ 工		

## 役 員 会 記 録

役員会は第100回委員会当日、委員長以下18名出席のもと平安会館内にて開かれ、次の様な審議及び報告が行なわれた。

### 1) 入退会について

入会申込み：渡 辺 政 宏 氏 (山梨大学工学部)

川崎重工業(株)技術研究所 (委員：寺田誠二氏)

以上の入会が承認された。

退会申込み：向 坊 隆 氏 (東京大学)

退会申込みがあったが、本委員会への貢献度も大きく、是非共、留まって戴く方向で検討することとなった。

### 2) 昭和61年度事業計画案

以下の61年度事業計画案が了承された。

○委員会 (日中シンポジウムが5月に開催されるため、本年度の委員会は2回とする。)

第101回委員会総会 2月7日 (神戸大学)

第102回委員会 9～10月 (宿泊、見学会 関東にて)

○第19回溶融塩化学討論会 11月 (大阪)

世話人：(阪大工) 幸 塚 善 作 委員

○第18回溶融塩講習会 6月 (京都)

世話人：(同志社大工) 田 坂 明 政 委員

○日中合同溶融塩シンポジウム 5月11日～14日 (上海)

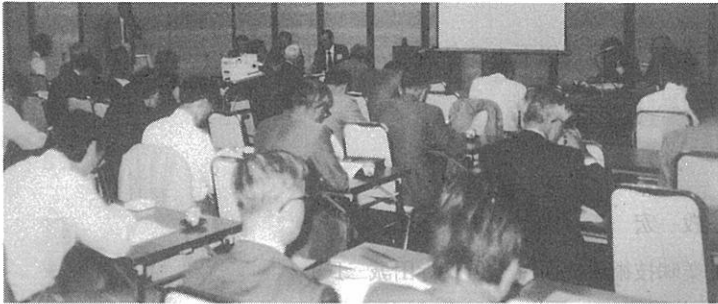
3) 昭和61年度役員草案が了承された。

4) “溶融塩賞”の設置が61年度総会にて承認を受けることとなった。

5) 第17回溶融塩講習会の会計報告があった。参加者71名で盛会裡に終了した。

6) 日中合同溶融塩シンポジウム団体旅行計画並びに準備状況説明があった。

# 第 100 回 記念委員会



第100回記念委員会  
 本日は行状報告と委員審議  
 及びの公任人（1  
 氏 選：本委中任人  
 中徳川

北野（向心）景ア、幸前 共



（あせら同立同会自はな 別手す 各々あはる 開開日自 入あまごの中日）会自委の  
**公開討論会 「委員会のさらなる発展にむけて」**  
 （今入（前）自す社と 委自会自第回1001第  
 （の自委開 自各）自自）自1010 自自委回1001第



自自委開第回1001第の  
 委自委開第回1001第の  
 本委自開第回1001第の  
 委自委開第回1001第の



懇 親 会